

平成26年9月5日

熊野市教育委員会

平成26年度 全国学力・学習状況調査の結果について

日頃より本市学校教育に対してご理解ご協力を賜りありがとうございます。

平成26年4月22日（火）に、小学校第6学年（149人）、中学校第3学年（141人）を対象として実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果について、別紙のとおりお知らせします。

本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握するとともに、教育施策の成果と課題を検証し、教育施策や学校における教育指導の充実、学習状況の改善等に役立てることを目的としているものです。

ただし、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面にすぎないことを踏まえていただいたうえで、内容をご覧いただきたいと存じます。

市教委としましては、現在、学校独自の主体的な取組を支援するための「特色ある学校づくり事業」、「学力向上支援事業」、「学力向上推進研修事業」、「放課後・夏休み学習サポートプラン事業」等を実施し、児童生徒の学力の向上の取組を進めております。

今後もこれらの事業を充実・発展させるとともに、見直しも図りながら、児童生徒の学力の向上に繋げるための支援を継続してまいります。また、県教育委員会と連携しながら学力向上アドバイザーや市教育委員会事務局の指導主事等を各学校へ派遣し直接的な支援を行ってまいります。

各報道機関の皆様におかれましては、今後とも熊野市教育委員会及び各学校における学力向上の取り組みについてご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、各学校別の結果につきましては、当市においては小規模校の学校が複数あり、それらの学校においては個人が特定される恐れがあるため、個人情報保護の観点から、市教育委員会としての公表は行わないことといたします。あわせてご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

1. 各教科の平均正答率

【小学校】

	国語A	国語B	算数A	算数B
熊野市	62.2%	45.8%	72.6%	53.0%
三重県	69.6%	52.5%	76.2%	56.0%
全国	72.9%	55.5%	78.1%	58.2%

【中学校】

	国語A	国語B	数学A	数学B
熊野市	77.3%	46.7%	65.2%	59.6%
三重県	78.0%	49.0%	67.1%	58.3%
全国	79.4%	51.0%	67.4%	59.8%

2. 各教科における特徴

(1) 小学校 国語A 主として「知識」に関する問題

「料理をのせたさらを運ぶ」の「さら」という漢字を正しく書くことについては、97.3%の児童が書けており、全国平均と変わらない。

しかし一方で、故事成語（「五十歩百歩」「百聞は一見にしかず」）の意味とその使い方の理解、話合いの記録の仕方などの観点に基づいた情報の関係付け等は、全国平均を下回っている。

(2) 小学校 国語B 主として「活用」に関する問題

2つの詩を比べて読み自分の考えを書くことや、詩の解釈における着眼点の違いを捉えることに課題がある。

また、分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらに関係付けながらまとめて書くこと等は、全国平均を下回っている。

(3) 小学校 算数A 主として「知識」に関する問題

繰り上がりのある加法の計算（ $46 + 57$ ）については、98.7%の児童ができており、全国平均を上回っている。

また、被乗数に空位のある整数の乗法（ 903×6 ）についても、94.6%の児童ができており、全国平均を上回っている。

しかし一方で、作図に用いられている図形の約束や性質の理解、単位量当たりの大きさの求め方の理解、分数の相等及び大小についての理解は、全国平均を下回っている。

(4) 小学校 算数B 主として「活用」に関する問題

示された場面から計算の結果の見通しをもち(2位数)×(1位数)の筆算をすることや、示された場面から基準量と比較量から何倍かを求めることについては、それぞれ96.0%、85.9%の児童ができており、全国平均を上回っている。

しかし一方で、示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断した理由や、2人のリズムが重なる部分を公倍数に着目して記述すること、示された情報を整理し筋道を立てて考え小数倍の長さの求め方を記述することは、全国平均を下回っている。

(5) 中学校 国語A 主として「知識」に関する問題

叙述の仕方などを確かめて、適切に書き換えることや語句や文の使い方に注意して、伝えたい心情にふさわしい言葉に書き換えること、文脈の中における語句の意味を理解することについては、それぞれ82.3%、80.9%、80.9%の生徒ができており、いずれも全国平均を上回っている。

しかし一方で、辞書を活用して語句の意味を適切に書くことや、登場人物の心情や行動に注意して読み内容を理解することは、全国平均を下回っている。

(6) 中学校 国語B 主として「活用」に関する問題

本や文章から目的に応じて必要な情報の読み取りは53.2%の生徒ができており、全国平均を上回っている。

しかし一方で、文章の構成や表現の仕方などについて根拠を明確にして自分の考えを書くことや複数の資料を比較して読み、要旨を捉えること、落語に登場する人物の言動の意味を考えその姿を想像することは、全国平均を下回っている。

(7) 中学校 数学A 主として「知識」に関する問題

図形の回転移動について移動前と移動後の2つの図形の辺や角の対応を読み取ることや、分数の除法の計算、連立二元一次方程式の解が2直線の交点の座標として求められることの理解や対称軸が与えられたときの線対称な図形を完成することについては、50.4%、90.1%、70.2%、97.2%の生徒ができており、いずれも全国平均を上回っている。

しかし一方で、底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係についての理解や、反比例についてグラフと表を関連付けた理解、一次関数 $y=ax+b$ について、 a と b の値とグラフの特徴を関連付けた理解については、全国平均を下回っている。

(8) 中学校 数学B 主として「活用」に関する問題

事象を理想化・単純化して問題解決した結果を解釈し数量の関係を数学的に説明したり、事象を理想化・単純化しその結果を数学的に解釈し問題解決の方法を説明したりすることについては、66.7%、63.8%の生徒ができており、全国平均を上回っている。

しかし一方で、図形の性質を構想を立てて証明したり、与えられたグラフを事象に即して解釈したりすることについては、全国平均を下回っている。

3. 児童生徒質問紙の特徴的な傾向

【児童質問紙（小学校）】

回答の割合が全国平均を上回っている項目

- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合 熊野市：79.2% 全国：75.1%）
- ・友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか。
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合 熊野市：81.2% 全国：74.8%）
- ・新聞を読んでいますか。
（「ほぼ毎日」「週に1～3回程度」と回答した割合 熊野市：31.5% 全国：27.1%）
- ・読書は好きですか。
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合 熊野市：77.9% 全国：73.0%）
- ・国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合 熊野市：62.4% 全国：58.5%）
- ・算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか。
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合 熊野市：82.5% 全国：77.3%）

回答の割合が全国平均を下回っている項目

- ・普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。
（「1時間より少ない」「全くしない」と回答した割合 熊野市：35.6% 全国：45.2%）
※「2時間以上する」と回答した割合 熊野市：39.6% 全国：30.3%
- ・学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。
（「1時間以上」と回答した割合 熊野市：41.5% 全国：62.0%）
- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。
（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合 熊野市：51.0% 全国：61.0%）
- ・家で、学校の授業の復習をしていますか。
（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合 熊野市：42.3% 全国：54.0%）
- ・5年生までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合 熊野市：64.5% 全国：71.9%）
- ・調査問題の解答時間は十分でしたか。
（国語A「時間が余った」「ちょうどよかった」と回答した割合 熊野市：73.1% 全国：85.5%）
（国語B「時間が余った」「ちょうどよかった」と回答した割合 熊野市：30.9% 全国：50.6%）
（算数A「時間が余った」「ちょうどよかった」と回答した割合 熊野市：81.2% 全国：89.4%）
（算数B「時間が余った」「ちょうどよかった」と回答した割合 熊野市：52.4% 全国：76.4%）

【生徒質問紙（中学校）】

回答の割合が全国平均を上回っている項目

- ・将来の夢や目標を持っていますか。
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合 熊野市：76.6% 全国：71.4%）
- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか。
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合 熊野市：50.3% 全国：43.5%）
- ・新聞を読んでいますか。
（「ほぼ毎日」「週に1～3回程度」と回答した割合 熊野市：29.0% 全国：21.1%）
- ・読書は好きですか。
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合 熊野市：73.7% 全国：69.4%）
- ・1、2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合 熊野市：79.4% 全国：75.3%）
- ・国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか。
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合 熊野市：73.8% 全国：67.5%）

回答の割合が全国平均を下回っている項目

- ・学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。
（「1時間以上」と回答した割合 熊野市：48.2% 全国：67.9%）
- ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。
（「1時間以上」と回答した割合 熊野市：48.9% 全国：67.4%）
- ・家で、学校の授業の予習をしていますか。
（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合 熊野市：21.3% 全国：34.2%）
- ・家で、学校の授業の復習をしていますか。
（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合 熊野市：34.7% 全国：50.4%）
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合 熊野市：22.7% 全国：31.2%）
- ・1、2年生のときに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合 熊野市：53.9% 全国：71.5%）
- ・調査問題の解答時間は十分でしたか。
（国語A「時間が余った」「ちょうどよかった」と回答した割合 熊野市：89.4% 全国：93.0%）
（国語B「時間が余った」「ちょうどよかった」と回答した割合 熊野市：70.2% 全国：79.5%）
（数学A「時間が余った」「ちょうどよかった」と回答した割合 熊野市：90.1% 全国：90.9%）
（数学B「時間が余った」「ちょうどよかった」と回答した割合 熊野市：73.1% 全国：77.7%）